



平成28年8月9日（火）
国土交通省関東地方整備局
企画部 技術管理課

記者発表資料

『週休2日制確保モデル工事』について

（平成27年度試行工事のアンケート結果（概要版）をお知らせします）

建設業界は、担い手不足が懸念され、若手技術者の確保・育成を中心とした将来の担い手確保が重要な課題であり、建設現場における『週休2日制』の確保も課題の一つとなっています。

関東地方整備局では、平成27年度から「週休2日制確保モデル工事」を実施し、週休2日制確保に向けた受発注者の課題を把握するため、受注者に対して、アンケート調査を行い、12工事（対象工事は15工事）から回答があり、調査結果をとりまとめましたのでお知らせいたします。

【アンケート結果（概要）のポイント】

- ・ 12工事のうち、8工事において、週休2日を確保出来たと回答。残りの2工事は7～9割程度を確保、1工事は4～6割程度を確保、1工事は全く確保出来なかった。
- ・ 週休2日を確保するために発注者に求めることについては、余裕を持った工期の設定（11工事）、建設業界全体の意識改革（10工事）、工事費のアップ（4工事）となり、適切な工期の設定や適正な利潤の確保、業界全体の意識改革が必要であることが、わかりました。
- ・ 週休2日制を実施することによる建設業の担い手確保に関しては、女性や若手が増える（5工事）、若手が増える（4工事）となり、週休2日制に期待を寄せていることがわかった。

こうした結果を踏まえ、平成28年度についても、週休2日制確保モデル工事を拡大・試行し、担い手確保に向けた施策の検討を進めてまいります。

発表記者クラブ

埼玉県政記者クラブ、竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会

問い合わせ先

関東地方整備局 企画部

技術管理課長

やはぎ
矢作

ともゆき
智之

いしかわ
石川

たけひこ
武彦

課長補佐

電話 048-600-1331

『週休2日制確保モデル工事』について

～平成 27 年度試行工事のアンケート結果（概要版）～

1. 『週休2日制確保モデル工事』の試行について

建設業界は、担い手不足が懸念され、若手技術者の確保・育成を中心とした将来の担い手確保が重要な課題であり、建設現場における『週休2日制』の確保も課題の一つとなっています。

このため、関東地方整備局では、建設現場において、『週休2日制』が確保でき、入職しやすい環境づくりに向けて、現場における現状の課題や問題点を把握すべく、平成 27 年度（10月）から「週休2日制確保モデル工事」（以下、「モデル工事」という。）を実施しているところです。

このモデル工事を通して、週休2日制確保に向けた受発注者の課題の解決に向け、試行工事の受注者に対して、①『現場等での就労環境について』、②『週休2日制確保モデル工事について』、③『週休2日制モデル工事の課題について』について、アンケート調査を行いましたので、この結果をお知らせします。

《参考》：『週休2日制確保モデル工事』について

【発注段階】

- 発注者が指定する工事において、『週休2日制』の試行工事を実施。
- 『週休2日制』については、以下の通りとし発注者が指定。
 - a)発注者が、①～③のいずれか1つを指定
 - b)受注者が、①～③を選択
 - ①一週間のうち、土・日曜日の休日を確保
 - ②一週間のうち、2日間の休日を確保（土、日曜日でなくても可とする。）
 - ③月単位で、4週8休を確保
- 主たる工種（工期を設定する上でのクリティカルとなる工種）について、工期設定の根拠となる作業日数を『見積参考資料』において明示。
- 総合評価での評価はしない。

【施工段階】

- 休暇の「取得計画書」を受注者が作成。

【完了段階】

- 休暇の取得状況を確認するための「月報（又は週報）」を受注者が提出。
なお、休暇の取得計画が達成できなかった場合でもペナルティは課さない。

【契約済みの工事の取り扱いについて】

- 施工途中であっても、受注者より『週休2日制』の試行を実施したいと協議があった場合には、試行工事として認めることができる。

2. 試行工事のアンケート調査について

平成 27 年度のモデル工事は、15 現場で実施（一部、現在も継続）しています。アンケート調査は、平成 28 年 1 月に発注者（監督員）より請負者の現場担当者（現場代理人等）にアンケート調査票*を配布し、調査への協力を求め、6 月末までに回答のあった 12 工事について、集計を行い中間報告としてとりまとめています。

なお、現在も施工中の 3 工事については、今後、調査票を回収する予定です。

表－1 アンケート調査の概要

平成 28 年 6 月末時点

項目	分類件数	備考	
工事種別	河川（築堤・護岸）	7 件	
	道路改良	2 件	
	コンクリート上部	1 件	
	共同溝	1 件	
	舗装	1 件	
工事状況（3 末）	完成済み	11 件	
	工期中	1 件	
工期	1 年以上	2 件	
	半年～1 年未満	10 件	
回答者	現場代理人	5 件	
	監理技術者	5 件	
	現場代理人兼監理技術者	2 件	
モデル工事分類	入札公告時	3 件	
	契約後協議	9 件	
週休 2 日制の選択	① 1 週間のうち、土・日曜日の休日を確保	6 件	
	② 1 週間のうち、2 日間の休日を確保	1 件	
	③ 月単位で 4 週 8 休を確保	5 件	

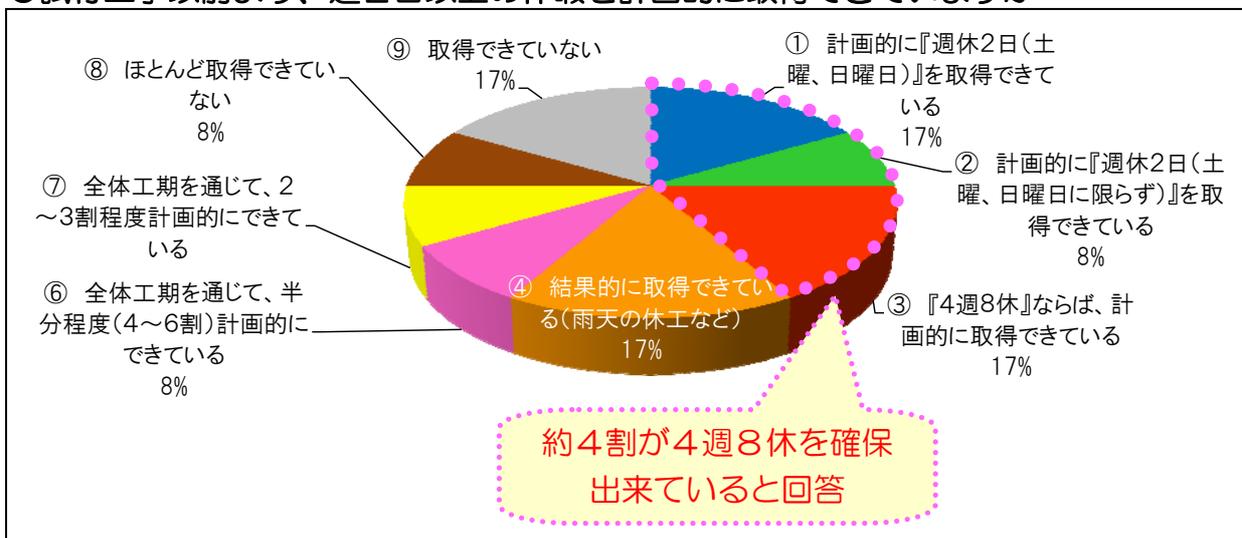
3. アンケート調査結果について

3.1 アンケート調査結果

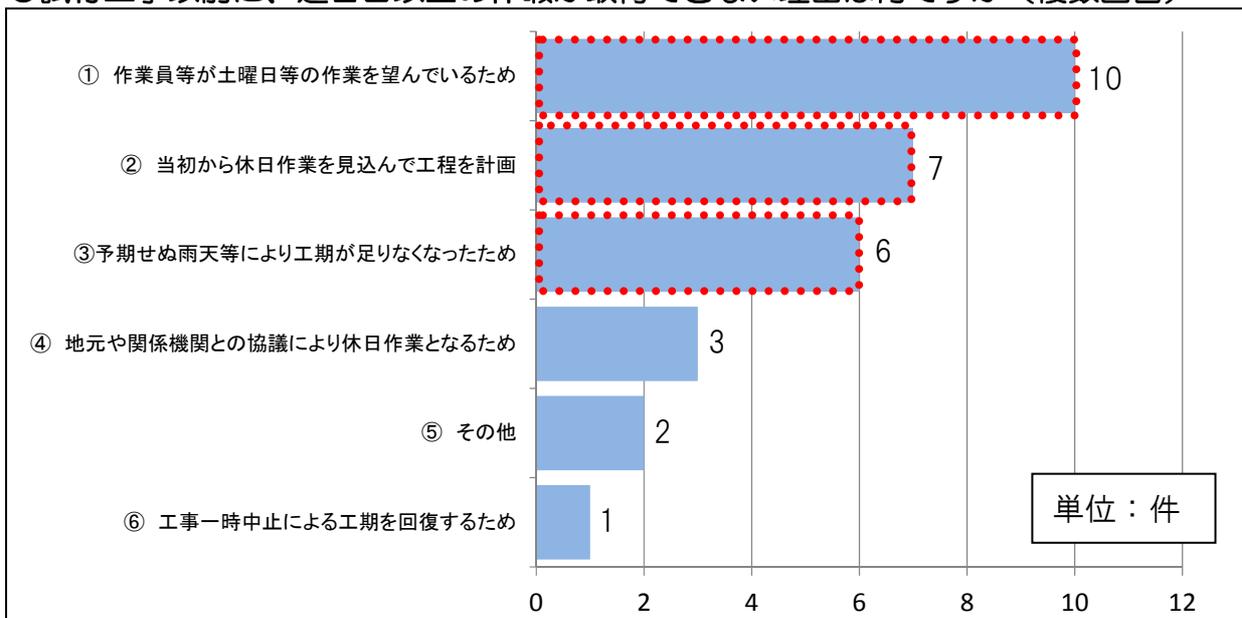
① 現場等での就労環境について

- ・ 従前より、計画的に週休2日（土曜、日曜日）、週休2日（土曜、日曜日に限らず）、4週8休を取得できていると約4割が回答している。
- ・ 一方で、週休2日を取得できない理由としては、「作業員等が土曜日等の作業を望んでいる」、「当初から休日作業を見込んで工程を計画」、「予期せぬ雨天等により工期が不足」といったものをあげている。

●試行工事以前より、週2日以上の休暇を計画的に取得できていますか



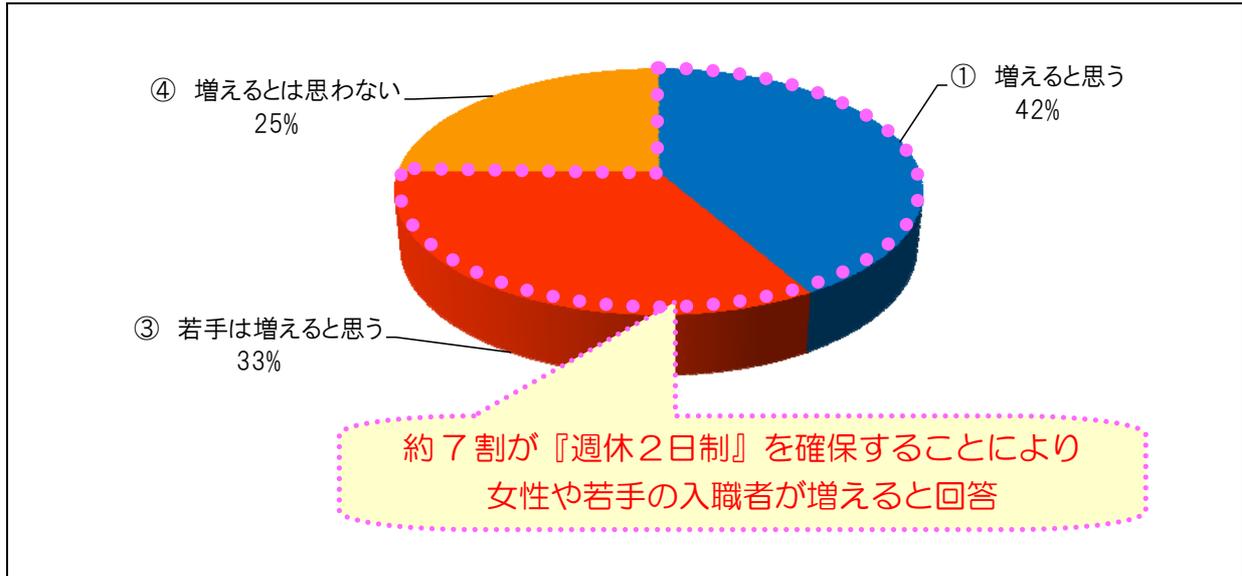
●試行工事以前に、週2日以上が取得できない理由は何ですか（複数回答）



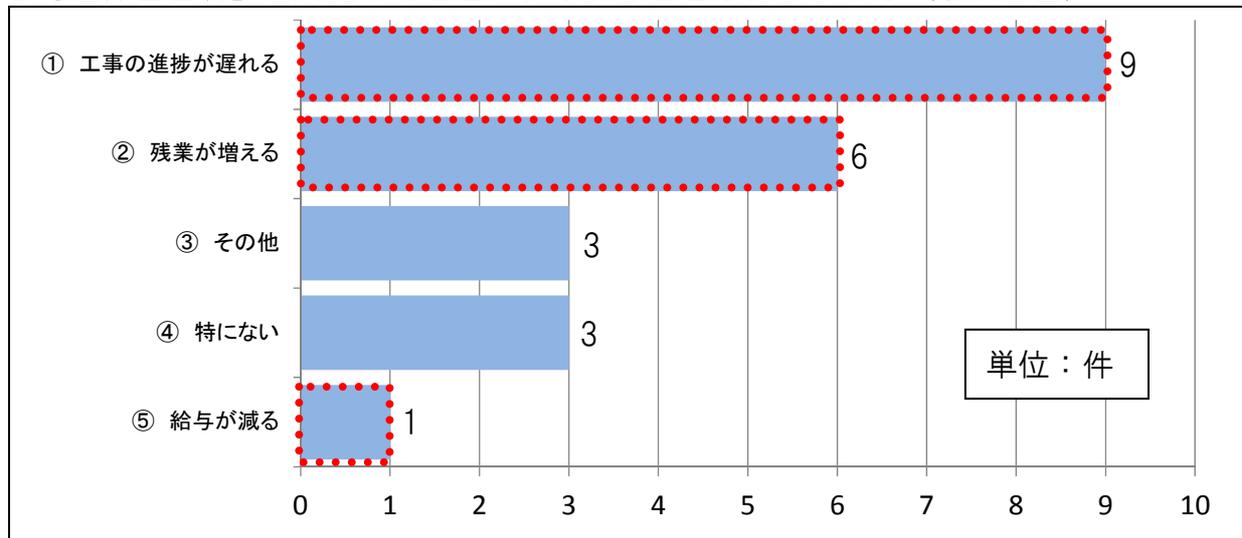
② 週休2日制を実施した場合について

- ・ 「女性や若手の入職者が増える」又は「若手は増える」と約8割が回答している。
- ・ 一方で、「工事の遅延」、「残業の増加」、「給料の減少」といった不安についても回答がありました。

● 『週休2日制』を実施することで、建設業に女性や若手の入職者が増えると思いますか



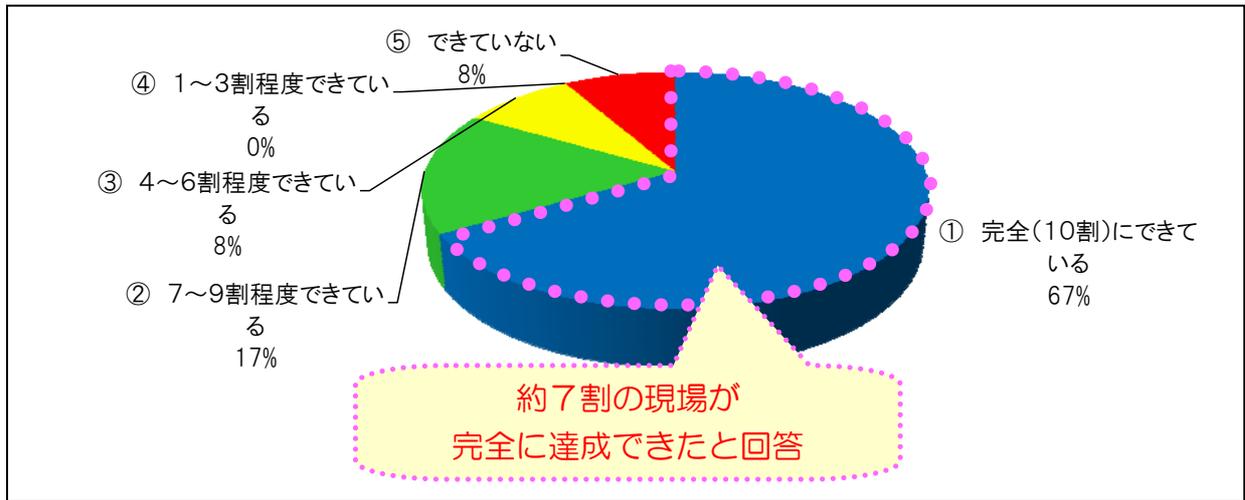
● 『週休2日制』を実施することに、不安なことがありますか（複数回答）



③ 試行工事の達成状況について

- ・ 12 工事のうち、約 7 割（8 工事）の現場で、週休 2 日が取得できていました。
- ・ 残る約 3 割（4 工事）のうち 2 工事については、週休 2 日が 7 割以上取得できていました。
- ・ 1 工事については、週休 2 日が取得できていませんでした。

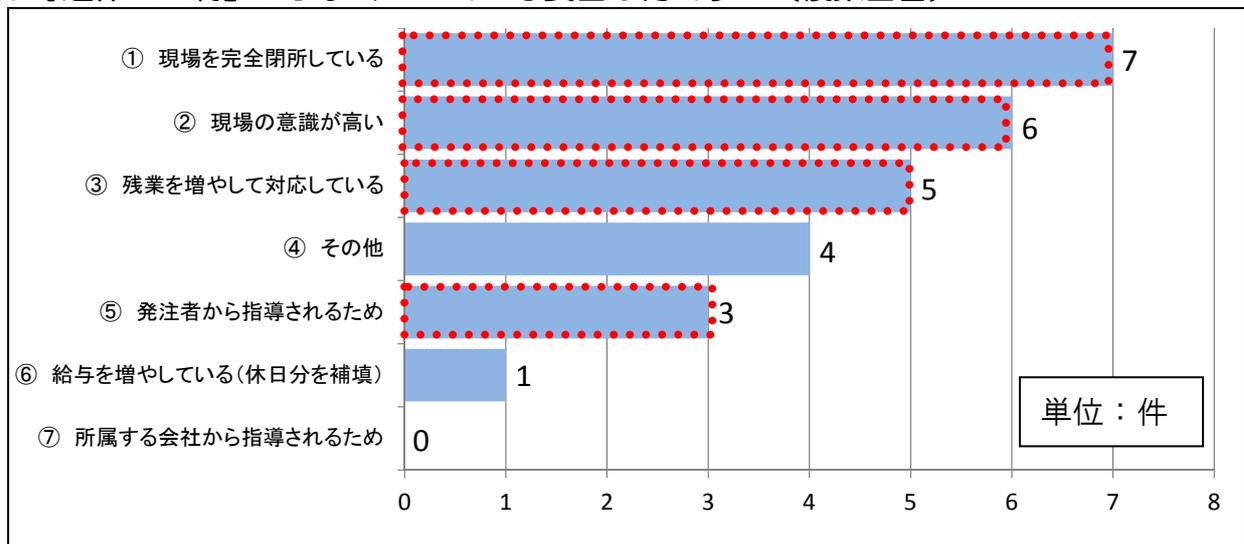
● 『週休 2 日制』の達成度は、何割程度ですか



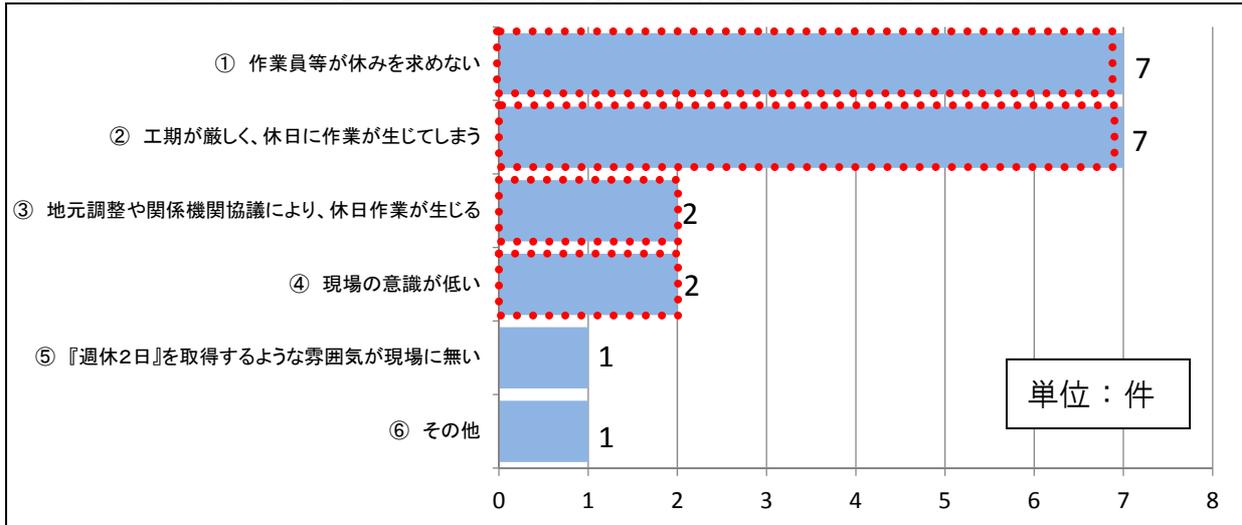
④ 週休 2 日制を達成するための要因について

- ・ 週休 2 日制がうまくいっている要因として、「現場を完全に閉所している」、「現場の意識が高い」、「残業を増やしての対応」の順となっているが、「発注者からの指導」といった回答もあった。
- ・ 一方で、達成できていない要因としては、「作業員が休みを求めない」、「工期が厳しい」、「外部との調整・協議に時間を要した」、「現場の意識が低い」といった回答となっている。

● 『週休 2 日制』がうまくいっている要因は何ですか（複数回答）



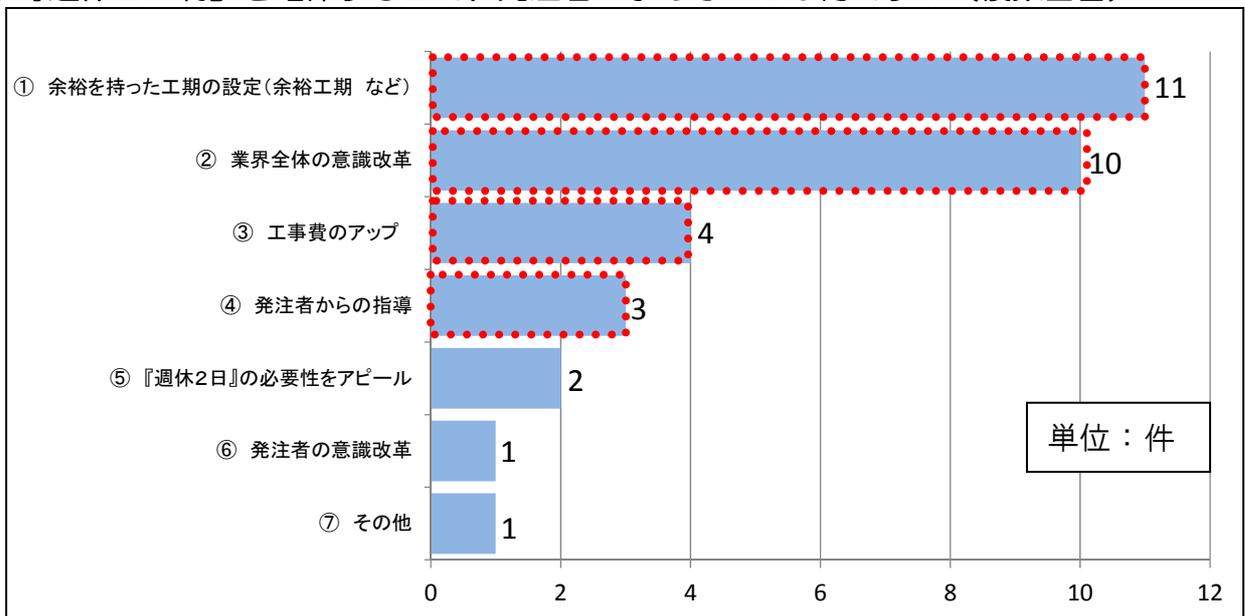
● 『週休2日制』 がうまくいっていない要因は何ですか（複数回答）



⑤ 週休2日制を確保するための方策について

- ・ 週休2日制を確保する上で、発注者に求めることを聞いたところ、「[余裕を持った工期の設定](#)」、「[業界全体の意識改革](#)」、「[工事費のアップ](#)」、「[発注者からの指導](#)」といった回答が多く寄せられた。

● 『週休2日制』 を確保する上で、発注者に求めることは何ですか（複数回答）



⑥ 週休 2 日制確保に関する自由意見（主なもの）

週休 2 日制に関して、自由な意見の主なものは以下の通り。

- ▶ 作業員の給料が日当である場合、週休 2 日制にすると月収の給料が下がる。
- ▶ 完全週休 2 日の定着を希望しますが、職人・作業員の雇用形態を確立する必要があると思います。
- ▶ 当現場では 4 週 8 休制度を実施した結果、当初工程より若干の遅れが出ましたが、確実に休日確保する事で、現場職員と作業員の体のケアや、気持ちのリフレッシュ等に繋がり、より効率のよい作業が実施できたと思います。また、個人的な意見になりますが、疲労の蓄積が解消できた事で、労働災害防止にも繋がったと思いますので実施して非常に良かったと思います。
- ▶ 週休 2 日制は半強制的にしないとだめだと思う。それには、休むことによってロスをする費用等を計上する必要がある。業者は早く終わらせて間接工事費にかかる費用を節約しようとするがそれができなにかかる費用をみるべきである。

4. 今後の週休 2 日制確保モデル工事について

- ① 平成 28 年度についても週休 2 日制確保のモデル工事を継続して実施し、対象工種や工事件数の拡大を図っていきます。
- ② 週休 2 日制の確保に関連した、「工事工程の共有の試行」工事や余裕期間制度を活用する工事と重複して試行を行い、効果の確認を行う予定です。
- ③ モデル工事の実施後には、受注者に対してアンケート調査にご協力いただき、効果や課題の検証を進めてまいります。
- ④ 関東地方整備局では、こうした取り組みを通して、若手や女性技術者が建設業に入職しやすい環境を整備するよう努めてまいります。